

よろず相談・汐入診療所待合室だより

よ・ろ・し・お

2020年9月号 (Vol. 9)



発行：汐入診療所 荒川区南千住南千住8-10-3-101 TEL 03-3807-2302

## おすすめの予防接種

今月号では子ども・大人それぞれにおすすめの予防接種を紹介したいと思います。現在新型コロナウイルスの影響から、必要な予防接種を受けていない方も多いためです。定期の予防接種は必ず受けるようにしましょう！なお今年のインフルエンザワクチン



ンについては、国や都等の方針を踏まえて対応を検討していきます。今年は特に早めに接種をしたいとの希望も頂いておりますが、対応が決まるまでもう少しお待ち頂ければ幸いです。

## ◇小学校入学前に2回接種を！：おたふくかぜワクチン◇

費用：組合 6,600 円、未組合員 8,800 円（荒川区民の場合、1回目は 3,500 円の助成あり）



現在おたふくかぜワクチンの予防接種は任意となっています。おたふくかぜは軽い病気と思われがちですが、実際には様々な合併症を伴うことがあります。髄膜炎は10-100人に一人の割合で見られ、他にも難聴（1000人に1人の割合）・精巣炎・卵巣炎・肺炎等の重篤な後遺症・合併症があります。1回目の予防接種については、12-15ヶ月での接種が推奨されていますが、荒川区民の場合は小学校に就学するまでに行えば1回目については3500円の助成が出ます。おたふくかぜワクチンは1回接種の有効率は78%ですが、2回接種すると88%に上がると言われています。日本小児科学会等では5-6歳時に2回目の接種を行うことが推奨されています。1回接種を行った方も、小学校に入学する前にぜひ2回目のおたふくかぜワクチンを行いましょう！（7歳以上でも希望される場合は、御相談下さい。）

## ◇全ての方に、特にお子さんに:B型肝炎ワクチン◇

費用：組合員 6,600 円、未組合員 8,800 円 (1回あたり)



B型肝炎ウイルスは肝臓に感染し、一時的または持続的な感染を起こします。持続感染する場合、10～15%の方で感染から年月を経て慢性肝炎を発症し、その後に肝硬変・肝細胞がんを発症することがあります。

感染は主にウイルスを含む血液や体液との直接の接触によって生じます。

大人の場合は感染しても一時的な感染となることが多いですが、持続感染するケースもみられます。一方で幼少期の感染ほど、持続感染しやすいと言われています。

2016年からは乳児に定期接種が行われていますが、それ以前に産まれたお子さんや、血液や体液に触れる機会の多い仕事(医療・介護従事者、救急隊員、警察官、保育職員等)の方、家族にB型肝炎ウイルスキャリアの方がいる場合等に特に接種が推奨されています。予防接種は4週間隔で2回、更に1回目から20-24週を経過した後に1回、計3回の接種を行います。

## ◇50歳以上の方の帯状疱疹予防に:水痘ワクチン◇

費用：組合員 8,800 円、未組合員 11,000 円

帯状疱疹は過去に水痘にかかったことがある人に起こる病気です。帯状疱疹にかかると、後遺症で帯状疱疹後神経痛と呼ばれる神経の痛みが残る場合があります、なかなか治りにくいことが知られています。50歳以上の方に対する帯状疱疹予防として、過去に水痘や帯状疱疹にかかったこ



とがある人に水痘ワクチンを接種すると、帯状疱疹を抑えられることが分かってきました。海外の報告では、ワクチン接種により帯状疱疹・帯状疱疹後神経痛の発生を、それぞれ半減すると言われています。過去に帯状疱疹にかかったことのある人も接種可能です。1回の接種となります。

※現在院内感染予防のため、発熱等がある方の送迎はお断りさせて頂いております。  
診療所での院内感染予防のため、御了承のほどよろしくお願い致します。

よろず相談・汐入診療所待合室だより「よ・ろ・し・お」バックナンバー

2020年1月号 「風しん抗体価検査」

2020年2月号 「大腸がん検診」

※バックナンバーを

2020年3・4・5月号 「新型コロナウイルス」

2020年6月号 「骨密度」

希望の方は受付まで

2020年7月号 「早めの健診を！」

2020年8月号 「熱中症予防」